



仙養ヶ原森林公園整備等事業

人と自然が輝く高原のまち



ACCESS

ええとこじかに
来てみんさい!

神石高原町は、広島県の東部に位置し、北は庄原市東城町、南は福山市、東は岡山県、西は府中市、庄原市総領町と接しており、面積は381.81km²です。

中国山地が広島県東部で南に張り出した高原地形の中に位置しており、標高は400~500mとなっています。

水系は、帝釈川、成羽川等大半が一級河川高梁川水系に属しています。

備後の中心都市福山市までの距離は約40kmです。

町の中央部からやや東側に、岡山県新見市と福山市を結ぶ国道182号が縦断しており、中国自動車道、山陽自動車道へアクセスしています。

神石高原町まで
JR福山駅から
車で50分!!



(旧) 仙養ヶ原ふれあいの里

仙養ヶ原森林公園の現状と課題

■現状

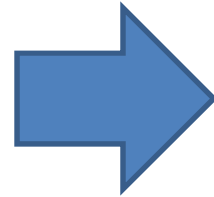
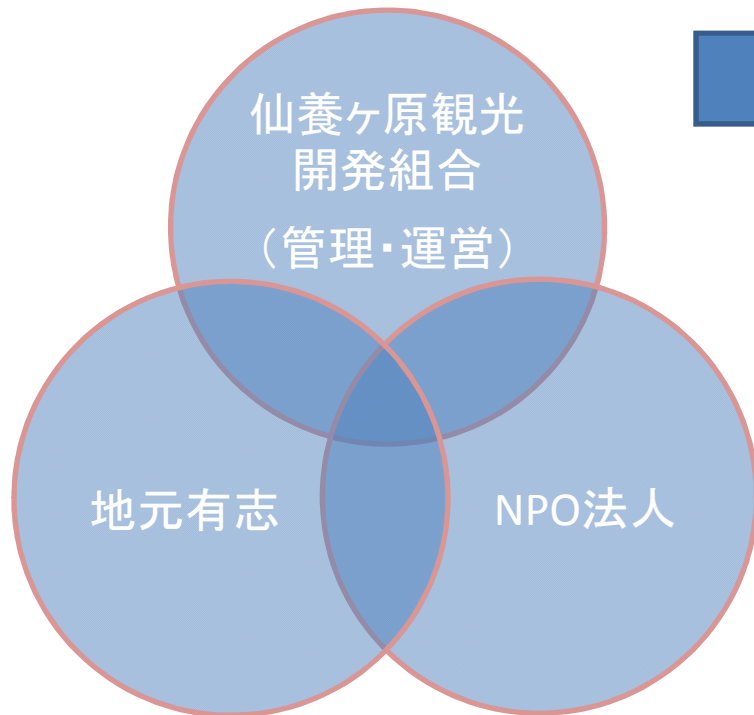
- ◇仙養ヶ原森林公園は、「森林を保護し、その利用を促進することにより住民の保健・休養を図るとともに、都市住民との交流の場を創ることにより、雇用の促進及び地域産業の活性化を図る。」目的で1989年(平成元年)に設置
- ◇来園者は年間約3万人
- ◇近年、近隣類似施設との競合や施設の老朽化等により入場者数は減少傾向
- ◇施設の経常的な施設管理経費や修繕費の増加が町財政を圧迫



■課題

- 来園者数の増加
- 施設維持のための財源確保

■これまでの経過



再開発の提案・要望

◇2014年2月◇

「人と動物, 自然との共生」をメインテーマ
とした観光コミュニティパークとして再開発したい。

《主な提案内容》

- ①牛や小動物とのふれあいや乳しぼり体験等
ができる牧場
- ②農産加工品のマーケット
- ③薬草などのガーデン
- ④アドベンチャー施設
- ⑤飲食施設等 の整備 ほか

《提案に伴う要望》

- ①指定管理者として10年の指定
- ②用途変更・施設改修の許可

事業提案に対して…

提案の内容は一種の企業誘致(雇用の創出等)として捉え、仙養ヶ原森林公園の設置目的を達成し、課題解決に向けた良案であることから、事業実施に向けた手法を検討することとした。



事業を実施するために考えられる手法

1. 行政財産
の貸付

2. 行政財産
の使用許可

3. 普通財産
の貸付

4. 普通財産
の処分

5. 民間活力
の活用
(公共事業)

■事業実施に向けた検討にあたって…

- ◇行政(普通)財産の貸付・使用許可・売り払いでの対応を検討したが、地元の理解(安心度)や貸付等の期間を考慮すると困難。
- ◇公共事業として町が行う(関わる・監視する)ものであれば、地元の理解も得られやすい。
- ◇町の財政状況を考慮すると多額の予算投下は困難。
- ◇集客(収益性)を図るための手法等のノウハウが町には乏しい。
- ◇過去に県で実施されたPFI事業の情報提供や手続き等についてアドバイスを受けることができた。

PFI事業として実施することを決定

- ✓県からの情報提供やアドバイスを受けながら進めることができる。
- ✓町が長期契約による公共事業として一括で発注する手法であり地元の理解も得られやすい。
- ✓性能発注方式の採用により、民間事業者の資金、ノウハウが幅広く活用でき、安くて質の良い公共サービスの提供が図れる。
- ✓事務の効率性の向上が図れる。
- ✓独立採算型による整備・運営の採用によりイニシャルコストを削減することができる。
- ✓指定管理料等の減額も見込める。

■ 基本的な考え方

仙養ヶ原森林公園では、NPO法人によるドッグランの運営や救助犬・セラピー犬の育成をはじめとした「犬の殺処分ゼロ」に向けた活動、森林セラピー基地としてのセラピーロードの設置、絶滅危惧種に指定されている高原植物「オグラセンノウ」の移植・保護などがすでに行われており、これらの蓄積を観光振興に結び付ける。

※森林セラピー：森の中での歩行や運動によって、リラクゼーション効果を得ることができる科学的に検証された森林浴効果



「命の大切さ」を学ぶ園内でのさまざまな体験を通じて、人や動植物の「いのち」を慈しみつつ、日常を離れた空間で癒しを得られる場所を創る。

これにより集客を図り、交流人口拡大による新たな雇用の創出や観光産業をはじめとした地域産業の活性化の拠点施設として機能することを目指す。

仙養ヶ原森林公園整備等事業の概要

◇事業名:仙養ヶ原森林公園整備等事業

◇事業期間:約10年間【平成26年9月3日から平成36年3月31日まで】

◇基本理念:「ヒトと動物, 自然との共生」をテーマとした交流・体験ができる公園

◇事業方式:BOO方式【建設⇒維持管理・運営⇒解体・撤去】

◇事業形態:独立採算型

◇事業内容:交流・体験ができる場

地元産農産物等の販売できる場

地元食材を利用した料理を提供できる場



建設・維持管理・運営



手続きの流れ

平成26年 5月 1日	実施方針の公表
5月20日	特定事業の選定
6月 2日	公告
6月17日	提案書の受付期限
6月23日	優先交渉権者の選定
9月 2日	事業契約の締結
平成27年 7月 4日	グランドオープン

仙養ヶ原森林公園整備等事業の概要(つづき)

◇事業主体:株式会社神石高原ティアガルテン

◇事業費:約2億5,000万円【平成26年度～平成27年度】

※維持管理費・運営費(人件費等)を除く。

※平成28年度以降も段階的に整備予定。

◇主な財源:交付金【総務省地域経済循環創造事業交付金】

補助金【全国商工会連合会補助金】ほか

◆町による支援【平成25年度～平成27年度】

- ・上水配管の更新
- ・浄化槽・屋外便所の新設



主な施設の紹介

Shiohara-h高原Teargarten
神石高原ティアガルテン



●管理棟(まきばの夢工房)
カフェ



●ふれあい牧場

●モバイルショップ



●売店(ソフトクリームショップ)



● ツリーデッキ・遊具





● 入場ゲート

● Bull Powered Mill



● 天文台

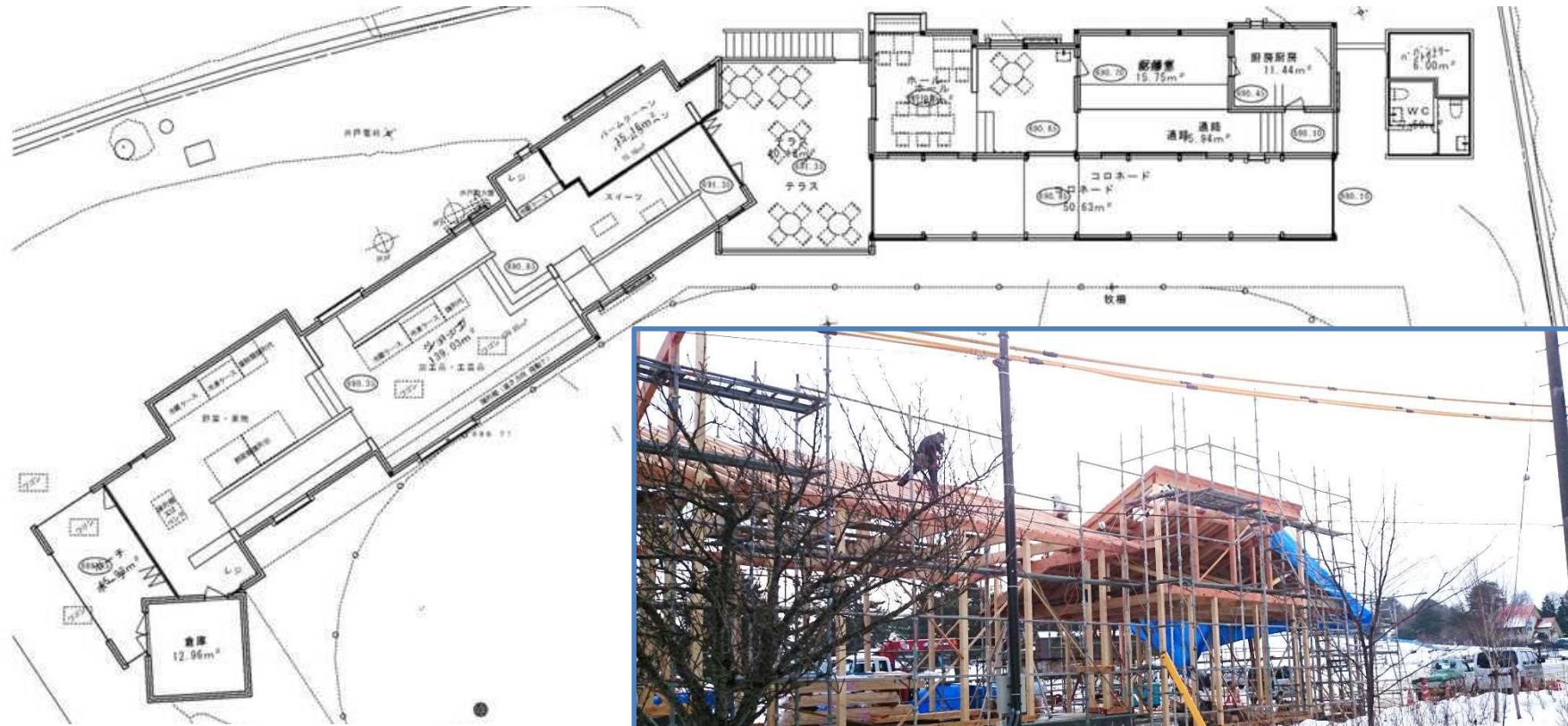
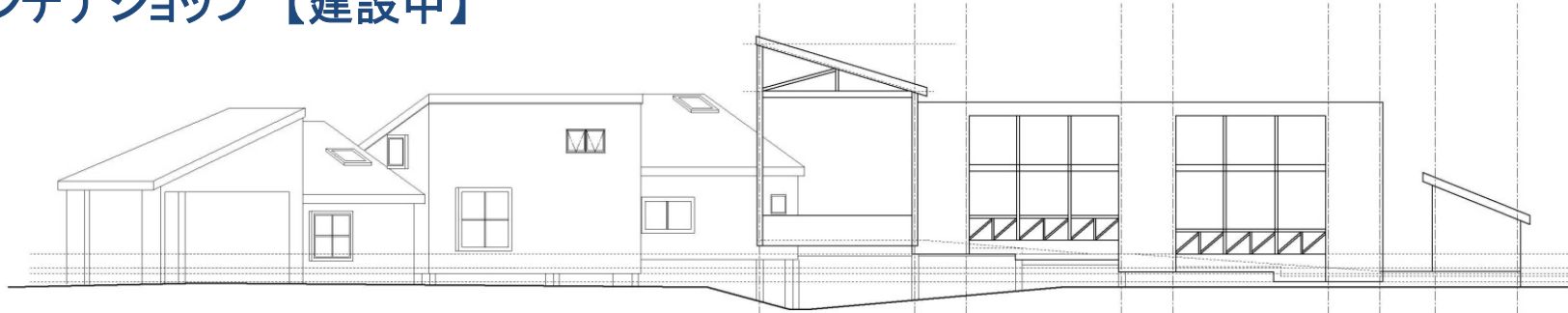
●水の遊び場(水景)



●ドックラン



●アンテナショップ【建設中】



■PFI事業(仙養ヶ原森林公園整備等事業)を実施して・・・

- ◇収益性を重視する施設整備であったため、PFI方式は適している。
- ◇行政の財政状況を考慮すれば、PFI方式(独立採算型)のメリットは大きい。
- ◇早期に庁内体制(企画・建設・財政部局等が参加)を構築することが重要。
- ◇県担当課との情報共有(アドバイスを受ける等)が重要。
- ◇多くの民間事業者に参加してもらうための事業スキームの構築が重要。
- ◇募集要項・要求水準書・事業契約書等の策定には、かなり時間を要する。

背景: グランドオープン式典(平成27年7月4日)

ご清聴ありがとうございました。

